

## リクスビス静注用 2000 の供給停止について

### 1. 経緯

○ リクスビス静注用 2000 は、血液凝固第Ⅸ因子欠乏患者における出血傾向の抑制を効能・効果とする遺伝子組換え血液凝固第Ⅸ因子製剤である。

○ 今般、武田薬品工業株式会社より、リクスビス静注用 2000 について供給停止の相談があった。

リクスビス静注用 2000 は 2016 年の発売開始以来、総使用患者数は3名であり、2017 年4月以降の4年で、新たに使用を開始した患者はいなかった。

また、リクスビス静注用は、今年度当初 1000、2000 及び 3000 国際単位の3規格を有していたが、昨年6月時点で、使用患者数は1名、納入医療機関は1施設の状況であり、2000 国際単位を残して 1000 及び 3000 国際単位の供給停止を進めることとした。

2000 国際単位についても、昨年9月以降は半減期延長製剤への切り替えにより、使用患者及び納入医療機関の数は「0」となっており、半減期延長製剤への切り替え後、約半年が経過し、使用患者において特段問題が生じていない状況である。

○ なお、2000 国際単位の規格を有している代替製剤は、標準型製剤で2製品、半減期延長製剤で3製品が存在している。

### 2. 今後の予定

○ 供給停止に向けた手続きを進める。

以上